

戸塚区連合町内会自治会連絡会10月定例会 議 題 説 明 書

みどり環境局戦略企画課

議題名: 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5か年の 実績報告について
【内容】 「緑豊かなまち横浜」を次の世代に引き継いでいくために、「横浜みどり税」を財源の一部として活用させていただきながら「横浜みどりアップ計画」を推進しています。5か年[2019-2023]を振り返り、取組の成果を事業報告書にまとめましたのでご報告いたします。
【例年あげている議題か?】 例年ご説明しているもので、昨年度も10月区連会で、4か年[2019-2022]についてご説明しました。
【会議に参加している地区連長が、各地区の単会会長に何を伝えればいいのか?】 【各単会の会長に何を依頼したいのか?】 (具体的に記入してください。) 事業の内容周知のため、区連会終了後に、単位自治会町内会長様に1部資料を配布いたしますので、ご承知おきください。
【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 みどり環境局戦略企画課

担当者名 堀越・溝渕

TEL 671-2712 FAX 550-4093

横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の 実績報告について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

また、2024 年 4 月からは 4 期目となる新たな 5 か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、2019 年度から 2023 年度までの 5 か年を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 配布資料

- (1) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の実績概要リーフレット
- (2) 5 か年[2019 年度～2023 年度]の区別実績
- (3) 「横浜みどり税」の説明チラシ

【問合せ】

横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課 TEL:671-2712 FAX:550-4093

横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL:671-2253 FAX:641-2775

効果的な広報の展開

みどりに関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組と成果を知っていただけるよう広報を展開しました。



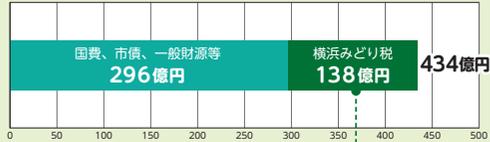
イベントでの広報



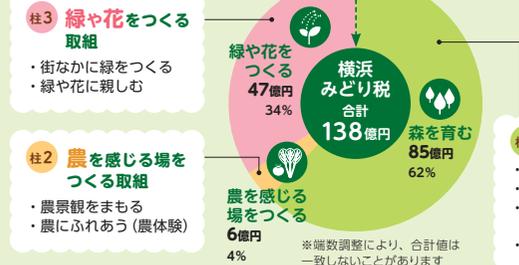
広報よこはま 令和6年3月号

計画の事業費と横浜みどり税(5か年の累計)

5か年(2019~2023年度)の事業費 (うち横浜みどり税)



計画の柱ごとの横浜みどり税活用額



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019年度からの5か年の事業費434億円のうち、横浜みどり税を138億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組みました。

横浜みどり税の課税方式

- 【個人】市民税の均等割に年間900円上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ



- #### 柱1 森を育む取組
- ・森を残す(指定・買取り)
 - ・森を育む(維持管理など)
 - ・森を育む人材の育成(活動に対する支援)
 - ・森に親しむ(きっかけづくり)

横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめたほか、広報誌「YokohamaみどりアップAction」を9号発行しました。



Yokohama
みどりアップ
Action



詳しくはHPを
ご覧ください

実績報告書はHPをご覧ください。
区ごとの実績もご覧いただけます。



横浜みどりアップ計画 検索

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について
みどり環境局戦略企画課

TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について
【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課
【法人市民税】財政局法人課税課

TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775
TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481

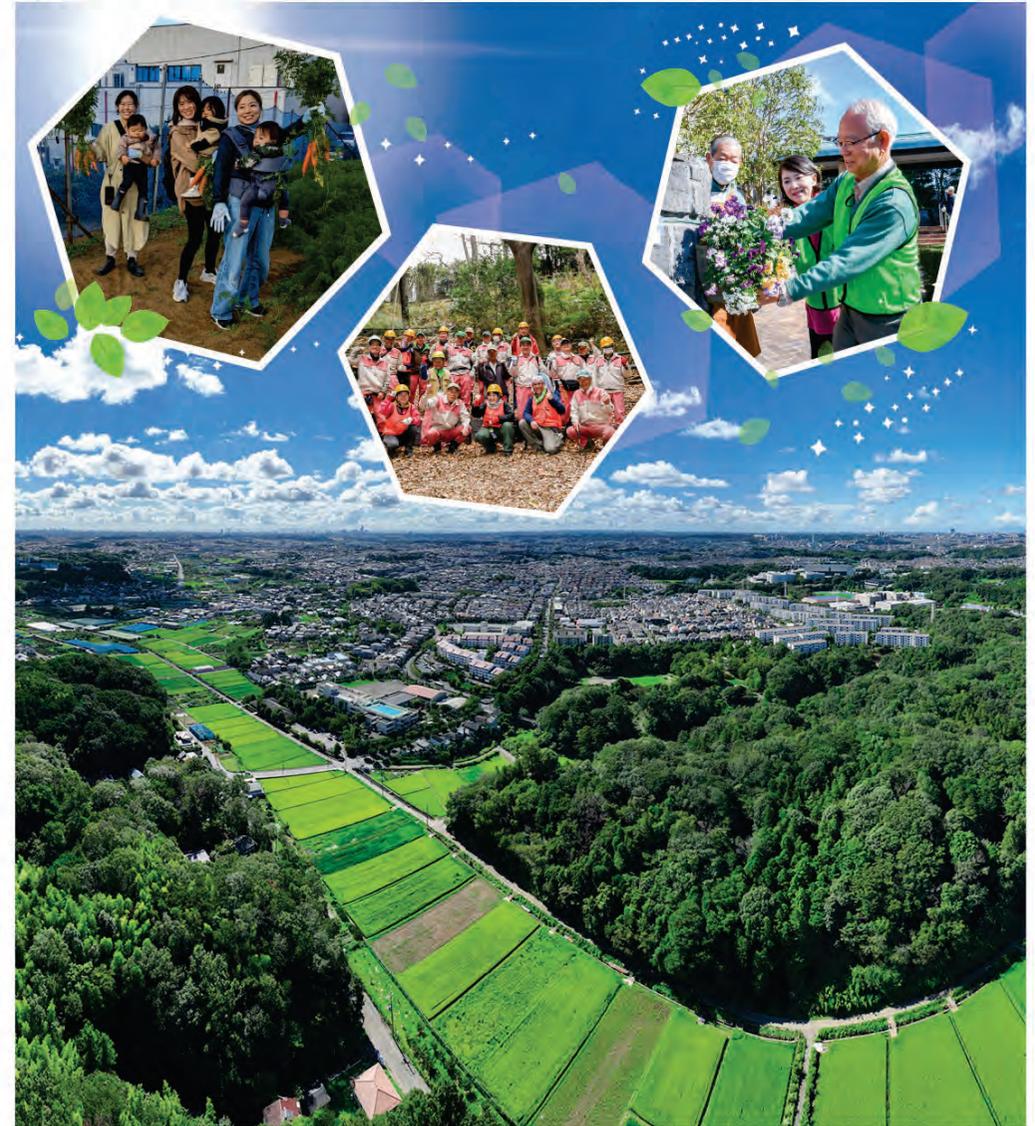
令和6年10月発行 横浜市みどり環境局戦略企画課



横浜みどりアップ 葉っぱー

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

5か年の実績 概要(2019年度~2023年度の実績)



青葉区寺家町

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を実施しました。

このリーフレットは、2019~2023年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。



横浜みどりアップ計画



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全が進んでいます

5か年で176.9ha、計画開始以降15年間で新たに1,082.5haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861.9ha指定しており、3倍以上のスピードで保全が進みました。

これまでのみどりアップ計画
(2009～2018年度)

10年間 **905.6ha**

みどりアップ計画以前
(1969～2008年度)

40年間 **861.9ha**



2019～2023年度
176.9ha

+ 1,082.5ha

▶ 緑地保全制度による新規指定 **176.9ha**

▶ 市による買取り **75.6ha**



下瀬谷特別緑地保全地区／瀬谷区

森に親しむための機会が広がっています

森に親しむことができるように、市民の森などを整備したほか、ガイドマップの作成や子ども向けのイベントを開催しました。

▶ 保全した樹林地の整備 **381か所**

▶ 市内大学や関係団体と連携したイベント、
区主催による森でのイベント **382回**



間伐材を活用したクラフト教室／
鶴見区



森の中のプレイパーク
南図書館／南区

樹林地の維持管理や安全の確保を 市民協働で進めています

樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、樹林地所有者に対しての維持管理費用の助成を行いました。

▶ 森の維持管理 **樹林地811か所、公園196か所**

▶ 維持管理の助成 **688件**



保全管理計画や森づくりガイドラ
インを活用した維持管理／泉区



樹林地所有者に対する維持管理支援
作業前後／旭区



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な農景観を保全しています

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等、周辺環境と調和した良好な農景観を維持・形成しました。

▶ 水田保全面積 **111.1ha**



水田の保全／青葉区



土砂流出防止対策／都筑区

農とふれあう場や機会が増えています

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考えた栽培プランで自由に野菜づくりを楽しむことができる認定市民菜園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **19.8ha**

▶ 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 **422回**



収穫体験農園／神奈川区



認定市民菜園／磯子区

地産地消が拡大しています

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等を支援しました。

▶ 直売所・青空市等の支援 **262件**



みなとみらい農家朝市／西区



柴シーサイド恵みの里直売所／金沢区



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

緑と花の空間づくりを進めています

公共施設や保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出・育成しました。

▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **39か所**

▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **203か所**



横浜子ども科学館／磯子区



保育園での緑の創出／港北区

緑や花で街の賑わいづくりを創出しています

多くの市民が集まる都心部等の公共空間などで、緑や花により街の魅力向上させ、賑わいづくりを推進しました。

▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと
維持管理 **71か所**



横浜市児童遊園地／保土ケ谷区



山下公園／中区

市民や企業の皆さんと緑と花の取組を 全区で進めています

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための「地域緑のまちづくり」を推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

▶ 地域緑のまちづくり **23地区**

▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



地域の花いっぱいにつながる取組／
港南区



緑や花を身近に感じる各区の取組／
栄区

市民の森

～計画開始以降16か所の市民の森が開園～

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。「市民の森」は計画開始前の27か所から16か所増え、現在43か所を公開しています。

～ボランティアの皆さんによる良好な森づくり～

市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など、ボランティアの皆さんが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「森づくり活動」を行っています。



池辺市民の森／都筑区

「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」 計画期間に開園した4か所の市民の森



長津田市民の森／緑区

2020年4月1日開園

クヌギやコナラを主とした広葉樹林が残り、コゲラやエナガ、シジュウカラなどの様々な鳥が生息しています。



市沢市民の森／旭区

2021年4月1日開園

緑陰や水辺の風景を楽しむながら散策ができるほか、ホテルや鳥類などを観察することができます。



名瀬・上矢部市民の森／戸塚区

2022年3月28日開園

コナラなどの広葉樹林からなる雑木林で、山裾沿いには竹林がみられ、昔ながらの里山の自然景観を楽しむことができます。



今井・境木市民の森／保土ケ谷区

2022年4月1日開園

クヌギやコナラなどの広葉樹林と、スギやヒノキなどの針葉樹林が広がり、尾根道を歩くことで四季折々の緑の風景を楽しむことができます。

よこはまの緑を 未来を担う 子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどリアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の 税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

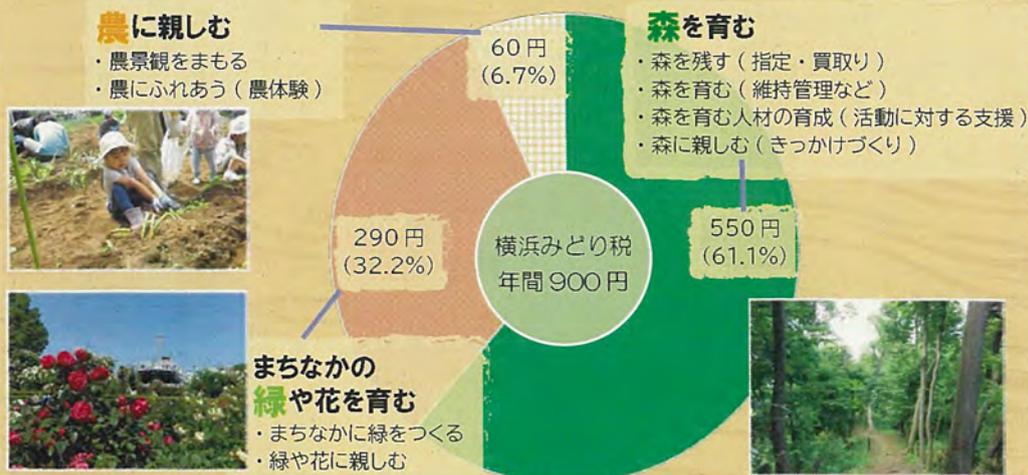


横浜みどり税の 使途

「横浜みどリアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜



5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに
次世代につなぐ森を育む

5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に
農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる
緑や花をつくる

5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様が取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開



森林環境税（国税）と横浜みどり税

Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



A 目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

● 森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和6年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和5年度までは、地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

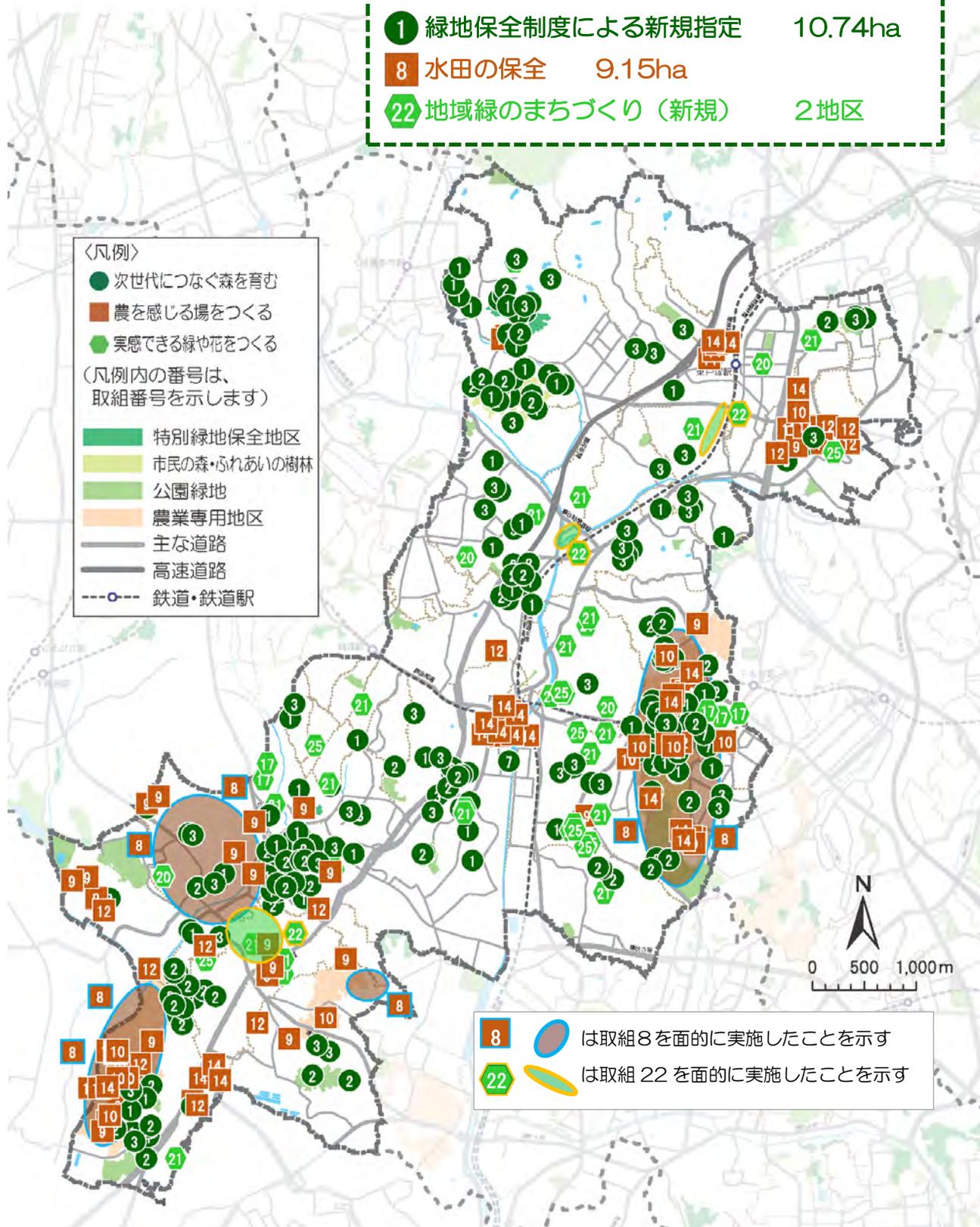
【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
▶ 区役所税務課 または 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について
▶ みどり環境局戦略企画課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093

戸塚区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 10.74ha
- ⑧ 水田の保全 9.15ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2地区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 10.74ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 0.1ha 下永谷特別緑地保全地区（指定拡大）（※上柏尾町）

2022年度 2.0ha 名瀬町緑園特別緑地保全地区

2023年度 1.3ha 名瀬北特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2021年度 0.1ha 名瀬・上矢部市民の森（指定拡大）、舞岡ふるさとの森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.4ha 上倉田町、上矢部町（3件）、汲沢五丁目、深谷町

2020年度 1.4ha 上倉田町、川上町、汲沢六丁目、戸塚町、深谷町

2021年度 0.2ha 戸塚町

2022年度 0.3ha 上矢部町

2023年度 0.6ha 柏尾町、戸塚町

・源流の森保存地区

2019年度 0.6ha 深谷町、東俣野町

2020年度 0.8ha 名瀬町、舞岡町

2021年度 1.3ha 汲沢町、名瀬町、東俣野町

2022年度 1.2ha 影取町、汲沢町、深谷町

2023年度 0.3ha 名瀬町、東俣野町

・その他

2020年度 0.01ha 汲沢四丁目

2021年度 0.03ha 舞岡ふるさとの森

2023年度 0.1ha 深谷市民の森、舞岡町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 名瀬・上矢部特別緑地保全地区

2020年度 1地区 汲沢四丁目特別緑地保全地区

2023年度 1地区 名瀬町緑園特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 2地区 まさかりが淵市民の森、深谷市民の森

2020年度 2地区 深谷市民の森、舞岡ふるさとの森

2022年度 2地区 まさかりが淵市民の森、上矢部ふれあいの樹林

○保全した樹林地の整備	52 か所	
2019 年度	8 か所	(仮称)名瀬・上矢部市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森(3 か所)、上矢部ふれあいの樹林、東俣野町緑地
2020 年度	5 か所	東俣野特別緑地保全地区、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、まさかりが淵市民の森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林
2021 年度	13 か所	名瀬・上矢部特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森(2 か所)、まさかりが淵市民の森(2 か所)、舞岡ふるさとの森(3 か所)、ウイトリッヒの森、上矢部ふれあいの樹林
2022 年度	15 か所	名瀬・上矢部特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森(2 か所)、まさかりが淵市民の森(2 か所)、舞岡ふるさとの森(5 か所)、ウイトリッヒの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地
2023 年度	11 か所	名瀬北特別緑地保全地区、舞岡ふるさとの森(5 か所)、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、名瀬・上矢部特別緑地保全地区

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 76 箇所

・保全管理計画の策定（樹林地）

2019 年度 1 箇所 舞岡ふるさとの森

2020 年度 1 箇所 上矢部ふれあいの樹林

・保全管理計画の策定（公園）

2019 年度 1 箇所 小雀公園

2020 年度 1 箇所 舞岡公園

・維持管理（樹林地）

2019 年度 11 箇所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、名瀬北緑地、舞岡緑地、舞岡町緑地、俣野緑地

2020 年度 13 箇所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、下倉田緑地、富塚八幡緑地、名瀬北緑地、東俣野町緑地、舞岡緑地、舞岡町緑地、俣野緑地

2021 年度 11 箇所 名瀬北特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、（仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

2022 年度 13 箇所 下倉田町特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

2023 年度 13 箇所 下倉田特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

・維持管理（公園）

2019 年度 2 箇所 舞岡公園、舞岡下谷公園

2020 年度 3 箇所 小雀公園、舞岡下谷公園、宮谷西公園

2021 年度 1 箇所 舞岡下谷公園

2022 年度 2 箇所 戸塚公園、舞岡下谷公園

2023 年度 3 箇所 三王山公園、戸塚公園、舞岡公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 94 件

2019 年度	15 件	柏尾町、上倉田町（3件）、上矢部町、汲沢町、戸塚町（5件）、平戸三丁目、平戸町、深谷町、南舞岡四丁目
2020 年度	24 件	柏尾町（2件）、上倉田町、上柏尾町、上矢部町（2件）、川上町、汲沢町、小雀町、平戸町、名瀬町（3件）、深谷町、舞岡町（2件）、前田町、南舞岡四丁目、俣野町、戸塚町（5件）
2021 年度	17 件	秋葉町、柏尾町（2件）、上柏尾町、上矢部町（2件）、川上町、汲沢町、戸塚町（5件）、名瀬町、平戸三丁目、舞岡町、吉田町
2022 年度	16 件	柏尾町、上柏尾町、上倉田町（3件）、汲沢町（2件）、汲沢六丁目、戸塚町（4件）、東俣野町（2件）、平戸三丁目、深谷町
2023 年度	22 件	柏尾町、上倉田町、上矢部町（3件）、川上町（2件）、汲沢町、小雀町、戸塚町（4件）、名瀬町、東俣野町、平戸町、深谷町（3件）、舞岡町（3件）

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2020 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2021 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2022 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2023 年度	舞岡ふるさと村虹の家

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 9.15ha

2019 年度	9.19ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2020 年度	9.36ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2021 年度	9.15ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2022 年度	9.15ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2023 年度	9.15ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町

○水源・水路の確保 2 か所

2022 年度	1 か所	東俣野水利組合
2023 年度	1 か所	東俣野水利組合

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 25 件

2019 年度	1 件	上倉田町
2020 年度	1 件	原宿二丁目
2021 年度	2 件	汲沢四丁目、小雀町
2022 年度	8 件	平戸町、東俣野町（2 件）、深谷町（2 件）、舞岡町、俣野町（2 件）
2023 年度	13 件	汲沢町、小雀町、原宿二丁目、原宿三丁目、東俣野町、深谷町（5 件）、舞岡町、俣野町（2 件）

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 64.5ha

2019 年度	46.4ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合
2020 年度	46.0ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合
2021 年度	64.7ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合
2022 年度	64.6ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合
2023 年度	64.5ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合

・農地縁辺部への植栽 21 件

2019 年度	3 件	平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、舞岡ふるさと村推進協議会
2020 年度	3 件	平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、舞岡ふるさと村推進協議会
2021 年度	5 件	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合
2022 年度	5 件	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、平戸農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会
2023 年度	5 件	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、平戸農業専用地区協議会

・井戸の改修 6 地区

2020 年度 1 地区 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会

2021 年度 2 地区 東俣野中部かん水組合、東俣野農業専用地区協議会

2022 年度 2 地区 東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会

2023 年度 1 地区 横浜市舞岡農業専用地区協議会

・土砂流出防止対策 1 件

2020 年度 1 件 横浜市戸塚区舞岡土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.01ha

2019 年度 0.30ha 影取町

2020 年度 0.25ha 影取町（2か所）

2021 年度 0.30ha 影取町（2か所）

2022 年度 0.50ha 影取町（2か所）、小雀町（3か所）、

2023 年度 0.66ha 影取町（2か所）、小雀町（2か所）

・たい肥化設備等の支援 1 件

2021 年度 1 件 東俣野町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 5.32ha

・収穫体験農園

2019 年度 0.15ha 東俣野町

2020 年度 0.28ha 平戸町、舞岡町

2021 年度 2.28ha 影取町、平戸町、舞岡町、俣野町

2022 年度 2.26ha 汲沢町、東俣野町、平戸町（5か所）、俣野町

2023 年度 0.11ha 影取町、小雀町

・市民農園

2022 年度 0.19ha 舞岡町、矢部町

2023 年度 0.05ha 俣野町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 35 件

・直売所・加工所

2020 年度 3 件 平戸町、舞岡町、名瀬町

2021 年度 3 件 影取町、舞岡町（2件）

2022 年度 5 件 影取町（2件）、東俣野町、平戸町、舞岡町

2023 年度 4 件 戸塚町（2件）、東俣野町、舞岡町

5 各区の実績
戸塚区

・青空市・マルシェ等

2019年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2020年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2021年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2022年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2023年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 8か所

2019年度	3か所	宇田川、下水道用地（名瀬町鷹の台地区）、舞岡ふるさと村虹の家
2020年度	2か所	宇田川、舞岡ふるさと村虹の家
2021年度	1か所	舞岡ふるさと村虹の家
2022年度	2か所	宇田川、舞岡ふるさと村虹の家

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度	桜木東戸塚線、国道1号（戸塚宿）ほか	計505本
2020年度	環状2号線（平戸町）、東戸塚西線	計530本
2021年度	俣野第314号線（ドリームハイツ）、国道1号線（戸塚宿）ほか	計319本
2022年度	俣野第314号線（ドリームハイツ）、東戸塚西線ほか	計348本
2023年度	環状2号線（平戸町～品濃町）、桜木東戸塚線ほか	計378本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 6件

2019年度	1件	上矢部町
2020年度	5件	品濃町、深谷町（3件）、吉田町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019年度	1本	吉田町
2020年度	6本	上倉田町(2本)、上矢部町(4本)
2021年度	1本	戸塚町
2023年度	1本	汲沢町

・維持管理の助成

2019年度	6本	影取町、汲沢町、品濃町、下倉田町、原宿二丁目、吉田町
2020年度	9本	下倉田町(2本)、原宿二丁目(6本)、吉田町
2021年度	7本	上倉田町(2本)、名瀬町、平戸町、前田町(3本)
2022年度	4本	汲沢町(2本)、戸塚町、原宿二丁目
2023年度	1本	吉田町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2021年度	1地区	深谷町東山地区
2022年度	1地区	柏尾町地区

・継続

2019年度	1地区	前田町桜の丘地区
2022年度	1地区	深谷町東山地区
2023年度	2地区	深谷町東山地区、柏尾町地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	戸塚駅西口橋上デッキの植栽更新、地域団体への花苗等の支援
2020年度	阿久和川周辺における土壌整備・シバザクラ植栽、区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理
2021年度	区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理
2022年度	区内鉄道駅等における花植え等を行う団体への支援、柏尾川遊歩道沿いの花壇整備、名瀬川、阿久和川のシバザクラ再整備とハツユキカズラの植栽
2023年度	区内鉄道駅等における花植え等を行う団体への支援、柏尾川遊歩道沿いの花壇整備

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布(平戸第二公園ほか9か所)
2020年度	球根などの配布(舞岡川遊水地公園ほか129か所)
2021年度	球根などの配布(秋葉台公園ほか141か所)
2022年度	球根などの配布(舞岡川遊水地公園ほか120か所)
2023年度	花壇講習会(弘法池公園)、球根などの配布(汲沢町公園ほか128か所)

5 各区の実績
戸塚区

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,900 本

2019 年度 595 本

2020 年度 524 本

2021 年度 637 本

2022 年度 548 本

2023 年度 596 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 4 箇所

2019 年度 2 箇所 YMCAとつか保育園、原宿保育園

2020 年度 1 箇所 倉田小学校

2023 年度 1 箇所 倉田小学校

○緑の維持管理 11 箇所

2019 年度 2 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校

2020 年度 3 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校、汲沢中学校

2021 年度 2 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校

2022 年度 3 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校、平戸台小学校

2023 年度 1 箇所 東戸塚小学校



1 緑地保全制度による新規指定
(名瀬北特別緑地保全地区)



3 樹林地の維持管理の助成
(深谷町)



8 水田の保全
(東俣野町)



12 収穫体験農園の開設
(影取町)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
(弘法池公園)



25 小学校での緑の創出・育成
(区内小学校)